

〔鉄道駅バリアフリー料金制度 届出の概要〕

(1) バリアフリー整備計画

- ・ 計画期間：2021～2030年度 総整備費：約305億円
- ・ 整備方針：料金収受エリア内において、国の定める整備目標を踏まえながら、お客様のご利用の多い駅からホーム可動柵（5駅16番線※）の設置を進めるとともに、ホーム可動柵・エレベーター等のバリアフリー設備の更新及び維持管理を行う。

※ホーム可動柵（5駅16番線の詳細）

新幹線	新大阪駅（20、21、22番線）
在来線	名古屋駅（1、2、5、6、7、8番線）
	金山駅（1、2、4番線）
	千種駅（1、2番線）
	大曽根駅（1、2番線）



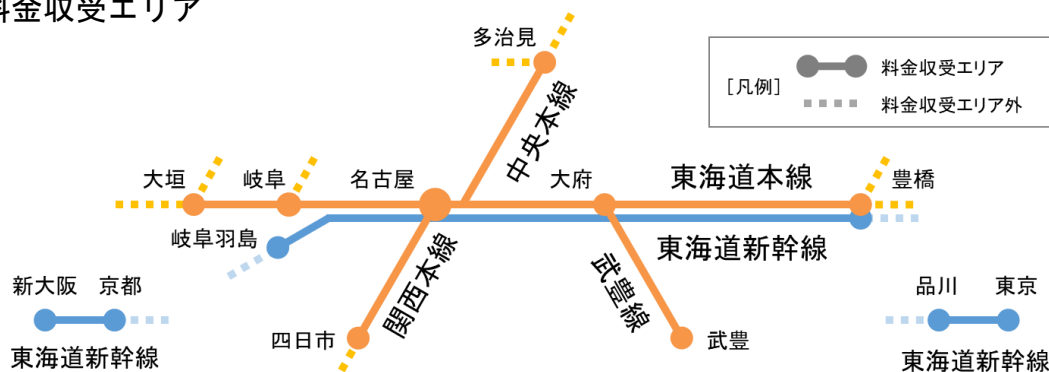
(2) 料金設定

料金収受エリアにおいて、下表に記載の料金を旅客運賃に加算します。
小児は旅客運賃に料金を加算した大人の半額となります。
なお、通学定期旅客運賃には加算しません。

①料金設定額（大人）

普通旅客運賃	定期旅客運賃（通勤）		
	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
10円	300円	900円	1,800円

②料金収受エリア



- | | |
|--|---------------|
| <p>【在来線】</p> <p>名古屋地区：〔東海道本線〕豊橋駅～大垣駅間
 〔中央本線〕名古屋駅～多治見駅間
 〔関西本線〕名古屋駅～四日市駅間
 〔武豊線〕大府駅～武豊駅間</p> | の各駅相互間 |
| <p>【東海道新幹線】</p> <p>東京地区：東京駅～品川駅間（定期外に限る）
 名古屋地区：豊橋駅～岐阜羽島駅間
 関西地区：京都駅～新大阪駅間</p> | の各地区における各駅相互間 |

2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	東海旅客鉄道株式会社
---------	------------

本年度整備費	2,829 百万円
--------	-----------

※端数処理の都合上、様式2-2の整備費の合計とは異なる。

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホーム可動柵	1 駅 2 番線	名古屋駅
備考		

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。
※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホーム可動柵設置番線数・段差解消駅数		
ホーム可動柵設置番線数	2 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	- 駅
	二経路以上確保駅	- 駅

本年度徴収額	1,256 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	749	506	0
備考			

本年度までの累計整備費	13,059 百万円
本年度までの累計徴収額	2,468 百万円

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	東海旅客鉄道株式会社
---------	------------

期間中の総整備費	13,059 百万円
期間中の総徴収額	2,468 百万円
備考	

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）				
設備名	計画数		整備数	進捗率
ホーム可動柵	3 駅	8 番線	3 駅	8 番線 100 %
備考				

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホーム可動柵設置番線数・段差解消駅数			
ホーム可動柵設置番線数		8	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	-	駅
	二経路以上確保駅	-	駅

中部国際空港の当事者参画

～開港時と現在の取り組み紹介～

開港時の当事者参画

centrail は....

- 1 基本構想段階から当時は普及していなかった**UD**の追求を打ち出した
= ユニバーサルデザイン
- 2 **UD研究会**を組織し 専門家・ユーザー・ステークホルダー・メーカーが協業してターミナルビルを作り上げた(日本初)
- 3 **UD研究会**は延べ142回の会合を実施し 基本設計・実施設計・施工の各フェーズで徹底的な議論を行った
- 4 先駆的で今日でも通用するターミナル・設備を作り上げた
- 5 開港をもって**UD研究会**の活動は停止した

開港時の当事者参画

UD研究会（2000～2005）

- 設計～施工で議論・意見集約・反映

メンバー



当事者団体



学識経験者



関係機関



CJIAC

+



自治体



航空会社



運輸局

オブザーバー

トイレ
分科会

情報提供・サイン
分科会

動線・昇降機
分科会

ユーティリティ
分科会

視覚障害者
分科会

空港アクセス
分科会

コンセッション・ホテル
分科会

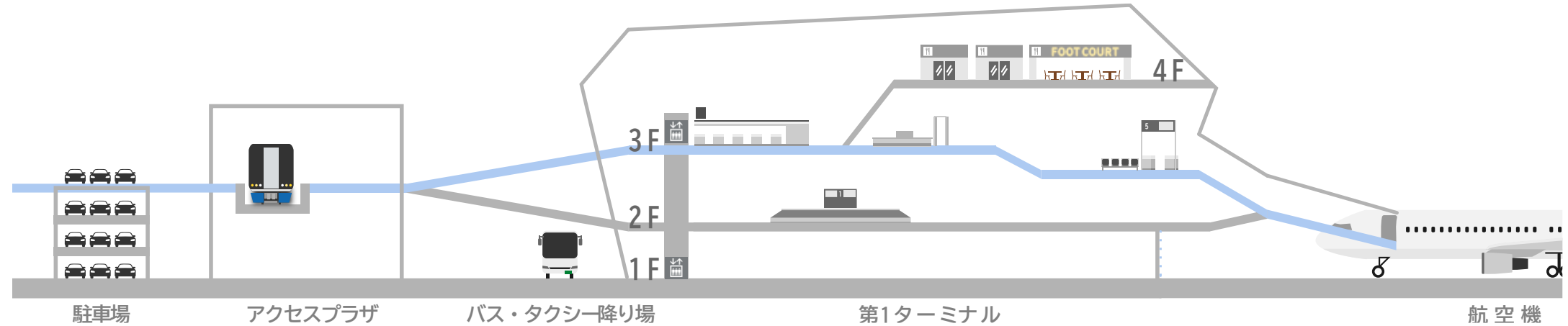
ソフト対応
分科会

聴覚障害者
分科会



開港時の当事者参画

主な成果



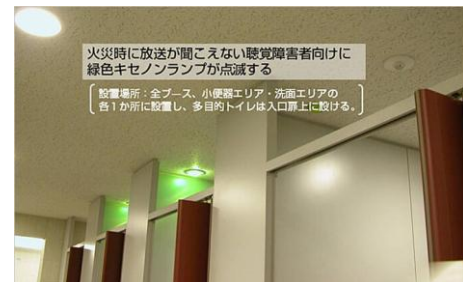
搭乗まで段差の無い動線
(Terminal 1)



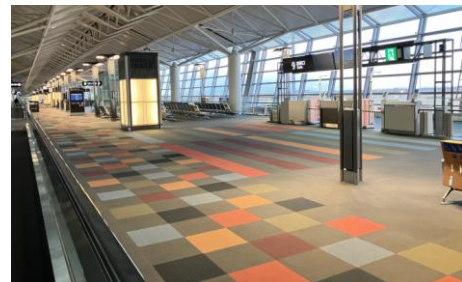
小型車いすでも入れる
一般トイレ個室
(1,200m×1,880mm)



機能が充実した
バリアフリートイレ
(2,700m×3,000mm)



聴覚障害者に配慮した
緊急時用ライト



弱視の方にも配慮した
動線暗示機能のある
照明・色彩



段差のない動く歩道
(搭乗待合エリア内)

現在の当事者参画

centrair は....

- 1 開港後はUDを点検・改善する体制を構築できなかった
- 2 時代の変化とともにUDに関する課題が蓄積していた
- 3 2023年度にUD推進活動を再始動させた
- 4 **UD総点検**を実施しユーザーとともに課題抽出を行った
- 5 **UD懇談会**を設置し課題解決に着手している

現在の当事者参画

開港後の課題

スパイラルアップ不足

- 既存施設・設備・サービス
- 使い勝手が定期的に点検されていなかった

例

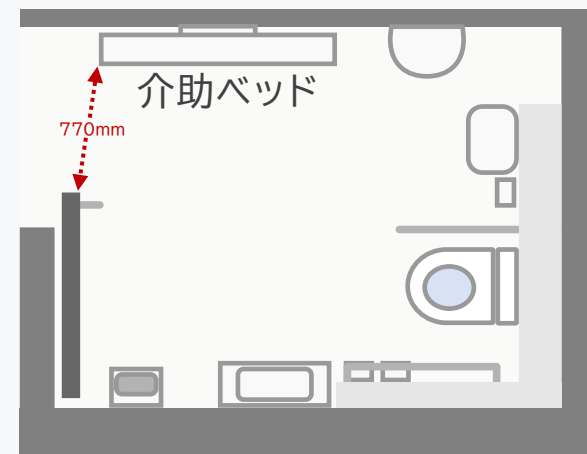


Terminal 1 (2005開業)案内所の触知案内板
最新のJIS規格に適合していない…

当事者参画型の設計不足

- 新たな施設・設備・サービス
- 当事者の使い勝手を追求しきれなかった

例

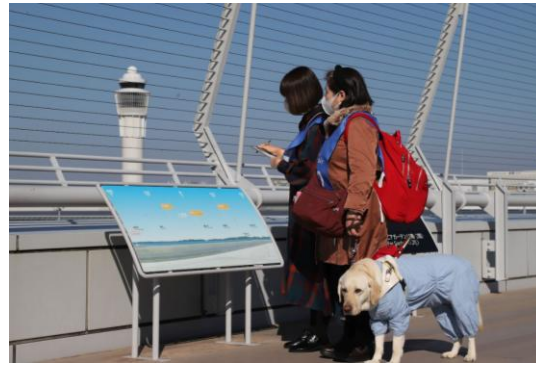


Terminal 2 (2019開業) バリアフリースイレ
入り口付近の介助ベッドが車いすの動線支障に…

現在の当事者参画

UD総点検 (2024.2)

- 多様な属性(14団体)による3日間の実地点検



協力：株式会社ドリームスカイ名古屋様、税関様、出入国在留管理庁様、厚生労働省検疫所様

1,154件のご意見・ご指摘！

UD総点検（2024.2）

- 意見・指摘の一例



アクセスプラザでおむつ替えをどこでできるのか迷った

見慣れないピクトグラムがあった

遠隔案内システムは無人なのでどうやって相談して良いか分からず困る

充電用コンセントの位置が高く使いにくい

筆談の際 定型的なやり取りは予め書いたボードなどがあると良い

触知案内板の作りがJIS規格に適合していない

カームダウンルームはもう少し囲んであったほうが嬉しい

Terminal 2の車いす搭乗動線に吹きさらしの場所がある

現在の当事者参画

UD懇談会

- 課題改善に向けた当事者参画の枠組み
 - UD総点検での課題改善方針・進行中の施設改修計画に関する議論の場



成果

- Terminal 1搭乗待合エリア 優先席の開発・導入



みつけやすい工夫

クリーム色地×青のピクトグラム
(景観と調和しつつ目立つ色)

座りやすく立ちやすい工夫

座面高さを44cmに設定
(通常タイプより3~10cm高い)

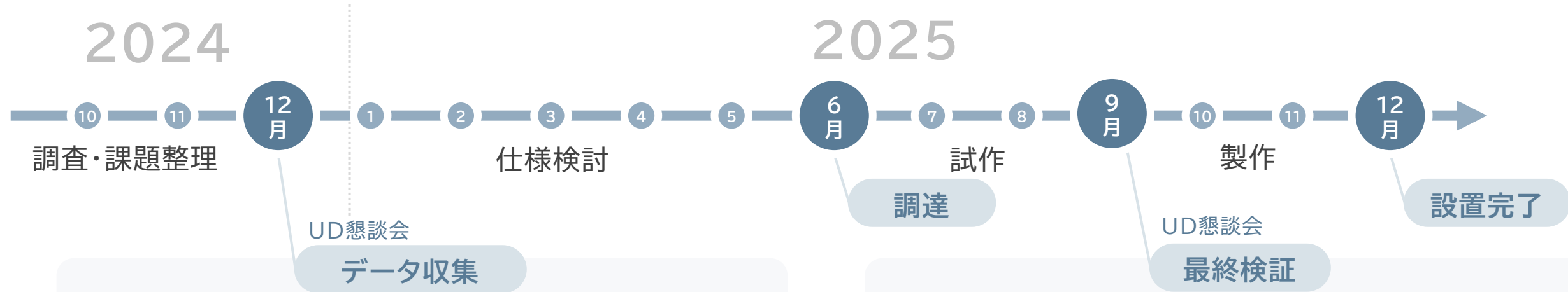
安心してつかえる工夫

充電用コンセント・杖ホルダーを設置

現在の当事者参画

成果

- Terminal 1搭乗待合エリア 優先席の新設



学識経験者・有識者7名、当事者等13名、空港内関係事業者4社
+メーカー



学識経験者・有識者7名、当事者等11名、空港内関係事業者4社
+メーカー



成果

- 当事者参画を通した効果的な改善

遠隔案内の筐体開発



誰でもつかいやすい仕様を検証

画面の高さ、グリップの位置、
プライバシーの確保など

スカイデッキの安全確保



ジョイント部材を交換

ベビーカー、車いすなどが
より安全・容易に通行できる部材へ変更

施設改修計画の議論



基本設計への当事者参画

建築設計初期段階から
当事者を交えて議論を継続

当事者参画を通して

効果

手戻りの最小化

- 初期段階から当事者視点での課題・懸念に対処できる

(例)施設の設計



構想

方向性の議論

基本設計

レイアウトの議論

実施設計

設備・仕上げの議論

施工

最終確認

新たな課題

👍手戻りの最小化

管理者側の能力向上

- 利用者の多様性・困りごとに関する知識を蓄積できる

お客様はどんな人？

電動車いす

簡易電動車いす

手動車いす

ストレッチャー

難聴

ろう

全盲

弱視

発達障害

外国の方

妊婦・子連れ

性的マイノリティ

など



どんなことに気を付ける？

色彩

感覚刺激

通路の幅

筆談対応

通路の段差

建材の種類

多言語対応

多宗教対応

ベビーケア設備

通路の傾斜

照明計画

事前情報提供

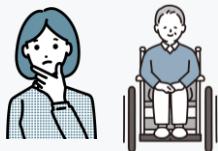
など

当事者参画を通して

課題・注意点

目的を見失わないこと

- 提供者・利用者 双方にメリットのある着地点を見出すことが重要



●●をやしてほしい

▲▲をやしてほしい

■□も良いかもしれない

事前情報提供も実施すると良い

●●と▲▲は莫大なコストがかかります

■□であれば実現可能ですが、いかがですか？

これならコストを抑えつつ利用者増が見込めます



議論の交通整理をすること

- 議論が本来の論点から逸脱しない工夫が重要



座長・副座長・ファシリテータ等 議論の先導役を置く

○× できること・できないことを予め明示しておく



資料展開・意見集約は事前に済ませておく